

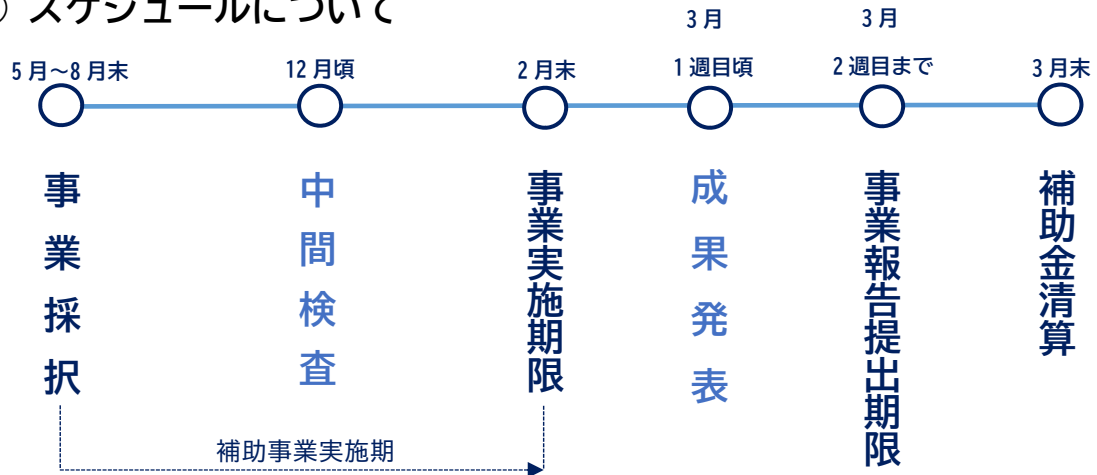
≡ 二補助事業手引書 (目次)

目 次

1. スケジュール・注意事項について
2. 提出様式一覧
3. 様式記入例

1. スケジュール・注意事項について

① スケジュールについて



② 注意事項等について

事業実施中

計画変更

申請書の内容又は区分経費の内容を 20%以上変更が発生する場合は、財団へ相談ください。

経費

補助対象経費に当たるか判断がつかない場合は、財団にお問い合わせください。

概算払

補助金の支払は、原則精算払ですが、「概算払」を請求することが可能です。

中間検査

検査内容

- ・開発商品の進捗状況の確認（商品の開発状況等をヒアリングにて確認）
- ・会計書類の確認（不備・不足、予算執行に問題ないかの確認）

検査場所

事業者様の会社に伺います。

成果発表・報告

成果発表

- ・実施した事業について、財団の成果発表会にてパワーポイント等で発表して頂きます。

実績報告書

- ・3月2週目までに事業報告書をご提出ください。
- ・帳票類は、返却出来ないため複写をご提出してください。

2. 提出様式一覧

■ 概算払申請

- ① 「食に関するミニ補助事業」に係る概算払請求書（様式第9号 概払No.1）
- ② 食に関するミニ補助事業費の概算払内訳書 （概払No.2）
- ③ 10. 事業費の内訳

■ 変更申請

- ① 「食に関するミニ補助事業」計画変更届出書（様式第7号 変更No.1）
- ② 食に関するミニ補助事業費の支出状況 （変更No.2）

■ 事業報告書

- ① 補助事業完了報告書（様式5号）
- ② 補助事業実績報告書
- ③ 補助事業費清算書（様式6号）
- ④ 請求書、領収書、納品書等の証ひょう類
- ⑤ 開発品、ラベル等印刷物、購入備品・機器等の写真
- ※ 出張報告書（様式10号）

※については展示会・市場調査等が発生した場合に作成願います。

3. 記入例

様式第5号

完了No.1

「食に関するミニ補助事業」完了報告書

令和29年3月10日

公益財団法人オホーツク財団
理事長 辻直孝様

事業完了後2週間以内にご提出下さい。

(申請者)

企業等名 株式会社財団
所在地 北見市大正353-19
代表者名 代表取締役
財団 太郎 印

令和29年3月10日完了いたしましたので、必要とされる証拠書類等を添えて報告いたします。

記

1. 補助事業実績報告書
2. 「食に関するミニ補助事業」実施要領第12条第1項第1号の、イからカに該当するもの。
3. 補助金の精算

・補助金交付決定額	300,000円
・概算払受領済額	0円
・返還額・請求額	300,000円

4. 振込先口座

銀行名・支店名 財団(銀行・信用金庫・信用組合) 大正支店
口座番号(普通・当座) 普通 0123456
フリガナ カブシキガイシヤザイダン
口座名義 株式会社財団

補助金決定額

※この欄は、財団が記入します。

様式第 6 号

「食に関するミニ補助事業」清算書

経費区分	予算額	精算額
区分1.試作実験費		
原材料費	100,000	89,000
備品費	6,000	15,000
使用料及び賃借料	2,000	2,460
1の合計	108,000	106,460
区分2. 労務費		
賃金	40,000	58,000
2の合計	40,000	58,000
区分3. その他経費		
旅費	75,000	54,000
出展料・会場経費	50,000	65,000
委託料	56,000	42,000
3の合計	181,000	161,000
区分4. 一般管理費		
4の合計	0	0
総合計	329,000	325,460

交付決定額	90%又は30万を限度とする。 (千円未満切り捨て)	292,000
概算払受領済額		236,000
返還予定額		56,000

様式第7号

変更No.1

「食に関するミニ補助事業」計画変更届出書

令和29年10月15日

公益財団法人オホーツク財団

理事長 辻 直 孝 様

(申請者)

企業等名 株式会社財団

所在地 北見市大正353-19

代表者名 代表取締役

財団 太郎 印

食に関するミニ補助事業の(変更・中止・廃止)について、届出いたします。

記

1. 研究開発事業のテーマ

オホーツク産山わさびドレッシングの開発

2. (中止・変更・廃止)の理由

商談会に、出展するためにラベルが必要になったため、冷蔵庫購入を取りやめ、ラベルをオホーツク(株)に委託。

3. (中止・変更)までの研究開発事業の状況

山わさびドレッシングのレシピ確立。

食品加工技術センターにて、山わさびドレッシングのサンプル試作

オホーツク(株)に、ラベル製造依頼。

食に関するミニ補助事業費の支出状況

経費の区分	食に関するミニ補助事業費の内訳(円)		
	予算額	変更予算額	差し引き残額
区分1. 試作実験費	74,000	12,000	62,000
原材料費	10,000	10,000	0
備品費	62,000	6,000	56,000
使用料及び賃借料	2,000	2,000	0
区分2. 労務費	40,000	40,000	0
賃金	40,000	40,000	0
区分3. その他経費	125,000	187,000	-62,000
旅費	75,000	75,000	0
出展料・会場経費	50,000	50,000	0
委託料	0	56,000	-56,000
区分4. 一般管理費	0	0	0
合計	239,000	239,000	0

企業等名

株式会社 財団

「食に関するミニ補助事業」に係る概算払請求書

令和29年6月30日

公益財団法人オホーツク財団
理事長 辻 直 孝 様

(申請者)
企業等名 株式会社財団
所在地 北見市大正353-19
代表者名 代表取締役
財団 太郎 印

食に関するミニ補助事業について、下記のとおり請求いたします。

記

1. 研究開発のテーマ オホーツク産山わさびドレッシングの開発
2. 交付決定額 金 296,000円
3. 概算払請求額 金 236,000円
4. 残 額 金 60,000円
5. 振込先口座 北見(銀行・信用金庫・信用組合) 本店

口座番号(普通・当座) 0000000

フリガナも必ず記入して下さい。

カブシキガイシャザイダン

口座名義 カ)財団

食に関するミニ補助事業費の概算払内訳書

経費の区分	食に関するミニ補助事業費の内訳(円)		
	予 算 額	概算払請求額	差し引き残額
区分1. 試作実験費	164,000	118,000	46,000
区分2. 労務費	40,000	28,000	12,000
区分3. その他経費	125,000	90,000	35,000
区分4. 一般管理費			0
合 計	329,000	236,000	93,000

補助事業実績報告書

1. 結果及び考察

① 素材の検討

主原料は、自社で製造している「山わさび醤油漬け」の製造工程で産出した残渣のひげ根、茎、葉と実家で製造している北見産のたまねぎを用いた。

② 製造方法の検討

1) 製造工程の検討

山わさびで加工せずにドレッシングを試作してみたところ辛み成分が飛んでしまったので、食品加工技術センターで製造工程相談しシクロデキストリンを用いて山ワサビの辛み成分の長期保存を可能にした。

添加量は、日本シクロデキストリン工業会の推奨配合量の5%で試作を行ったが、理想の辛みより強かったため4.5%を添加することとした。

2) 製造工程

使用原料

おろしにんにく	50g
山わさび 葉	100g
茎	30g
根	20g
タマネギ	100g
オリーブオイル	300g
濃口醤油	150g
バルサミコ酢	300g
塩	25g
シクロヘキサン	6.75g

加工手順

1. おろしにんにく、タマネギをすりおろし、山わさびの葉、茎、根をシクロヘキサンを添加した後にフードプロセッサーで荒く粉砕する。2. 残りの原料を1と混ぜ合わせる。

③ マーケティング（展示会、市場調査等を行った場合）

令和29年10月20日に大阪で開催された食の展示会へ参加し、試食提供を行いました。試食提供では、山わさびの辛みが好評で、アンケートでは「もっと辛くして欲しい」という声が多数あり商品開発の参考にさせていただきました。

2. 今後の予定

現在オホーツク産の山わさびの流通経路はまだないため販路開拓が必要だと思います。

パッケージデザインや、販売形式（販売量等）も売れる商品を作り上げる上でのブラッシュアップもまだまだ必要だと思います。

オホーツク産山わさびの魅力を、伝えられる商品づくりを目指してより良い商品づくりを目指します。